

★ 整備メニュー・内容 ★

- 基幹事業：計画の目標を実現するための主たる事業（道路本体に関わる事業）・・・道路改良事業，交通安全事業，防災事業，補修事業等
- 関連社会資本整備事業：基幹事業と一体的に行うことが必要な事業・・・河川事業，海岸事業，港湾空港事業，砂防事業等
- 効果促進事業：基幹事業と一体となって効果を一層高める事業・・・長寿命化等計画策定，景観整備，交通安全施設整備等

【成果目標①】

「安心とゆとりの創出時間」とは・・・

未改良の道路は，幅員狭小，線形不良等により十分な視距が確保できず，また，危険な法面等が存在し事故や災害が懸念され，歩行者や自転車等に注意しながら不安な運転を余儀なくされ，走行速度の低下を招いていました。

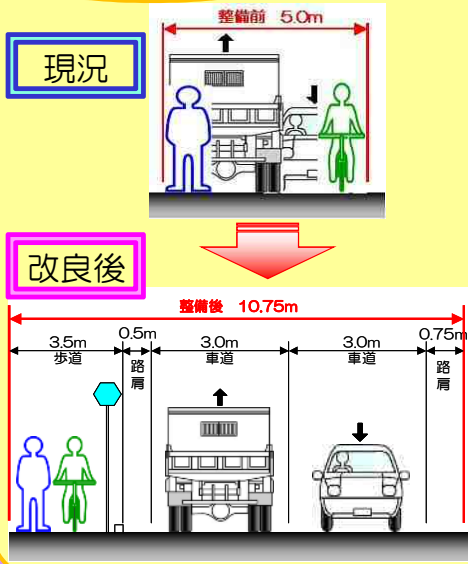
そこで，道路の利用者に

- ・「安心走行時間」：道路が改良されることにより，事故や災害等の不安や走行性の悪さに伴うストレスが解消され，安心して快適な走行が出来る時間
- ・「ゆとりの時間」：目的地までに要する時間が短縮されることにより得られる時間

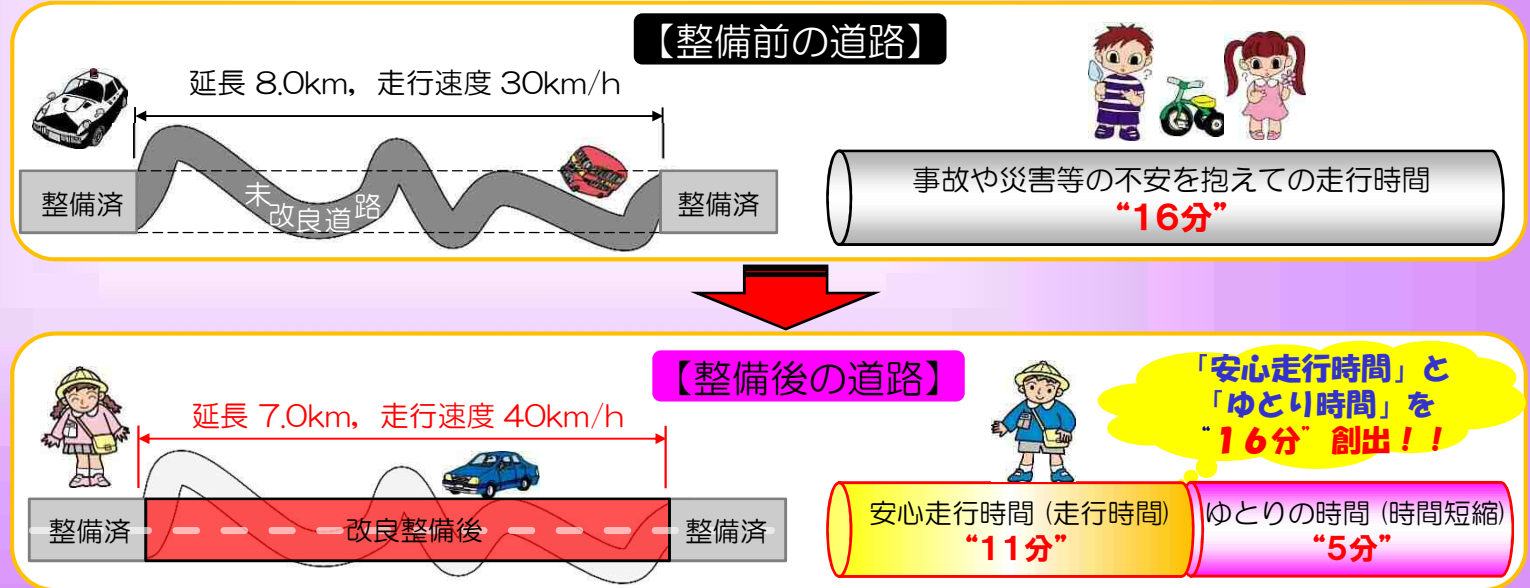
の余裕を提供するため，「安心とゆとりの創出時間」について目標を設定して整備を行いました。

このほか「防災対策必要箇所解消等による災害時等の緊急輸送活動の支援」，「舗装補修等により走行の安全性，快適性の向上」，「歩道設置に伴う自転車や歩行者の安全確保」の事業を推進しました。

整備イメージ



指標イメージ



「安心走行時間」と「ゆとり時間」を「16分」創出！！

安心走行時間 (走行時間) 「11分」  
ゆとりの時間 (時間短縮) 「5分」

## 【成果目標②】

「都市内道路の整備区間における走行時間損失の削減」とは・・・

都市内道路（都市計画道路）とは、都市交通施設としての機能のほか、次のような機能を持っています。

- ◎ 通風や採光、オープンスペースといった居住環境を維持するための機能
- ◎ 避難路や救援路などの都市防災施設としての機能
- ◎ 電気・ガス・上下水道・電話等の都市施設のための空間としての機能
- ◎ 市街化を誘導する機能

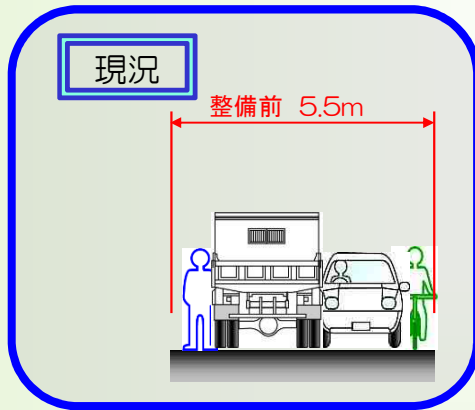
整備前の道路では、線形不良や、幅員の狭小、歩道未整備による歩行者や自転車等への配慮により、不安な運転を余儀なくされ、道路を通過するにあたり、相当な時間等を要しているところです。

今回、社会資本整備総合整備計画を策定し成果目標を設定するうえで達成度を目に見えるかたちにするために、道路を利用されている方々が改良前に通行した際にかかった時間と、道路が改良されることにより、安全・安心に通過することができる時間を算出し比較することとしました。

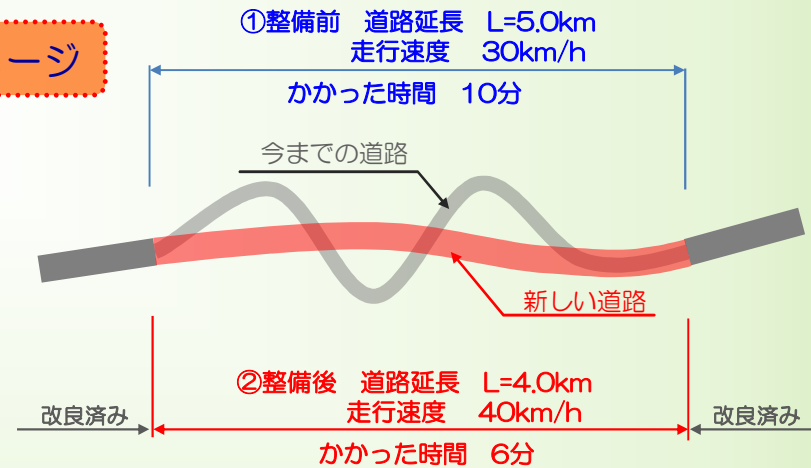
また、成果目標のほかに、都市計画道路を整備することにより、歩道整備による歩行者等の安全確保や都市空間の確保など、様々な役割を果たすことができます。

### 改良のイメージ

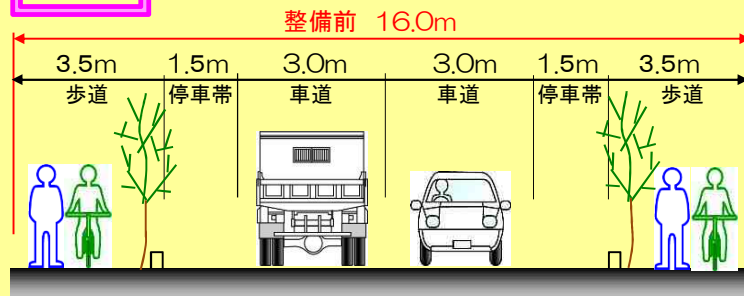
- 車と歩行者の分離による安心・安全な道づくり
- ゆとりある都市空間整備
- 植樹帯の設置による良好な生活環境の確保
- 停車帯整備による円滑な通行の確保など



### 指標のイメージ



### 改良後



$$\text{削減割合} = \left[ \frac{6 \text{分 (整備後の走行時間)}}{10 \text{分 (いままでの走行時間)}} - 1 \right] \times 100 = \underline{\underline{-40\%}} \text{ (％)}$$

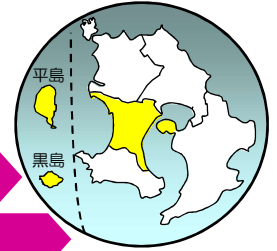
いままでも道路を通行するのに余分にかかっていた時間を走行時間損失としています。

今回の例では、道路改良を行うことにより、走行時間を**40%削減**（4分短縮）することができました。

# 計画名称

薩摩半島中央部における地域間・地域内の交通連携の充実・強化による安全・安心で魅力ある都市環境づくり

【事業主体】鹿児島県、鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村



## 計画の目標・計画期間

九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道へのアクセス及び都市間の交通連携の強化、都市部と空港・港湾・漁港等の物流拠点との有機的な連携、鹿児島市を中心とした広域的な都市機能の充実等を図るとともに、都市内の円滑な交通確保及び防災機能の強化により安全・安心で魅力ある都市環境を形成する。[平成21年度～平成25年度(5箇年)]

道路利用者

車道が“約5km”改善され“約4分”走行時間が短縮

歩道が“約14km”整備され歩行者等の安全性が向上

法面危険箇所“3箇所”，橋梁“4橋”，舗装補修“約29km”を修繕

## 要素事業の進捗状況

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施		備考		
				完了	継続			
A：基幹事業	県	道路改良(指標①)	● 14	12	6	6	バイパス、現道拡幅	
		修繕	▲ 16	16	16	0	舗装補修、橋梁補修等	
		交通安全	■ 8	8	7	1	歩道設置、交差点改良等	
		街路整備(指標②)	◆ 4	4	2	2	現道拡幅	
		その他	—	0	0	0	0	
	市町村	道路改良(指標①)	● 3	3	1	2	現道拡幅	
		修繕	▲ 6	6	5	1	舗装補修、橋梁補修等	
		交通安全	■ 13	13	13	0	歩道設置	
		街路整備(指標②)	◆ 3	2	0	2	現道拡幅、連続立体交差	
		その他	—	1	1	0	1	区画線等
B：関連社会資本事業	市町村	河川事業	—	1	1	0	0	川・サドワーク整備
C：効果促進事業	県	植栽、調査等	—	3	3	3	0	橋梁長寿命化計画等
	市町村	調査等	—	2	2	2	0	橋梁長寿命化計画等

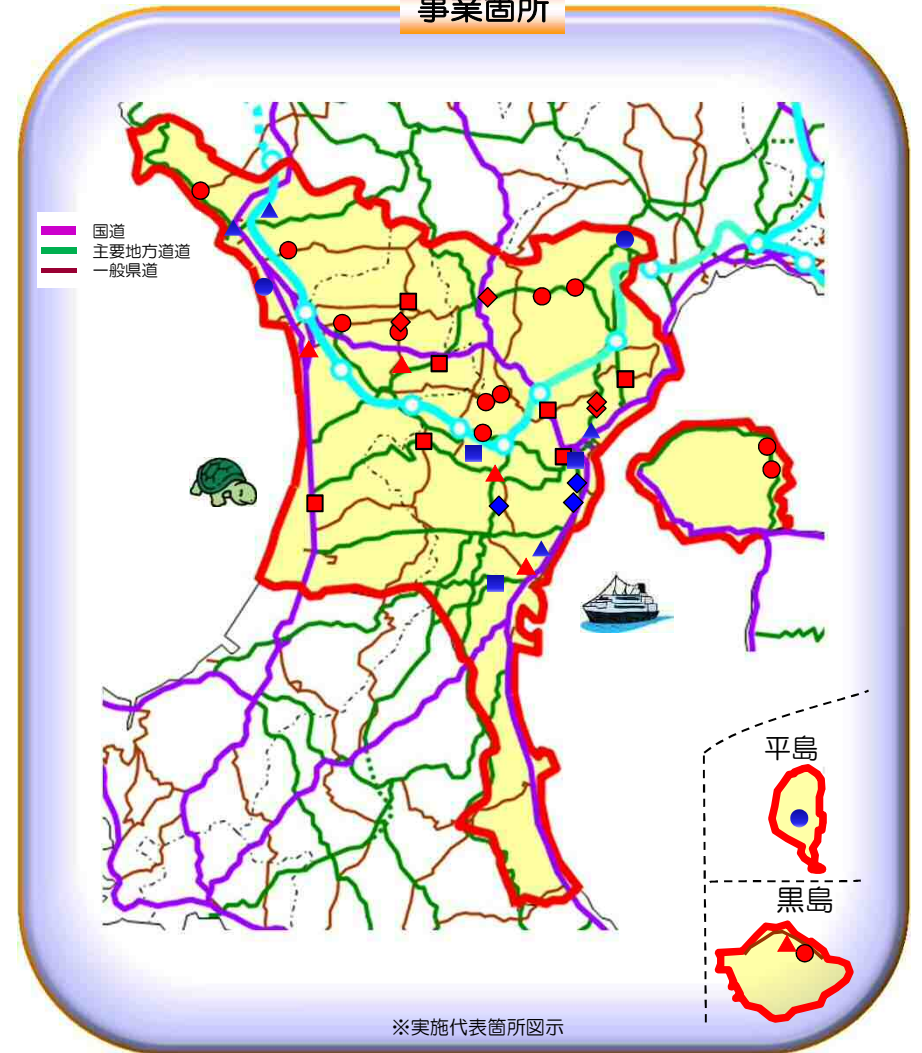
## 目標達成状況

指標①	計画の成果目標	改良により安心・快適な走行時間とゆとりの時間の創出		
	定義及び算定式	「安心とゆとりの創出時間」= (改良後延長/将来速度) × 将来交通量 + { (現況延長/現況速度) - (改良後延長/将来速度) } × 将来交通量		
	達成状況	達成度 ⇒ 80%	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)
指標②	計画の成果目標	都市内道路の整備計画区間における走行時間損失削減		
	定義及び算定式	「走行時間損失の削減割合」= (評価時における走行時間損失/現況(H21)における走行時間損失-1) × 100 (%)		
	達成状況	達成度 ⇒ 96%	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)

## 今後の方針

原発避難経路である県道川内串木野線荒川工区や離島の主要な路線である県道片泊大里港線、県道間を結ぶ市道奥之宇都線、都市計画道路の郡中央通り線など、H26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。

## 事業箇所



※実施代表箇所図示

# 計画名称 薩摩半島中央部における地域間・地域内の交通連携の充実・強化による安全・安心で魅力ある都市環境づくり

【事業主体】 鹿児島県, 鹿児島市, 日置市, いちき串木野市, 三島村, 十島村

## 整備効果事例

### 道路改良

いじゅういんかもみぞべ かごしま ゆや  
 主要地方道 伊集院蒲生溝辺線(鹿児島市湯屋地区)



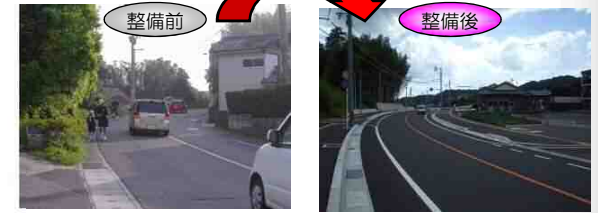
#### ★整備効果★

災害時の「緊急輸送道路」や鹿児島から空港を結ぶ「外環状道路」の機能強化のため、0.7kmの隘路区間の解消を図り、また、歩道整備による歩行者の安全性確保が図られた。

- ◆隘路区間の解消
- ◆鹿児島空港へのアクセス向上
- ◆緊急輸送道路の機能強化
- ◆歩行者の安全性確保

### 街路整備

こおりちゅうおうどおりせん  
 都市計画道路 3・5・4号 郡中央通り線  
 いじゅういんひよしせん  
 (主要地方道 伊集院日吉線)



#### ★整備効果★

鹿児島空港へのアクセス向上、歩道整備による歩行者の安全性確保が図られた。

- ◆拡幅による車両のスムーズな通行確保
- ◆旅行速度が約10km/h向上
- ◆歩道整備による歩行者の安全性確保

### 交通安全 (交差点改良)

かごしまよしだ かごしま おびさこ  
 主要地方道 鹿児島吉田線(鹿児島市帯迫地区)

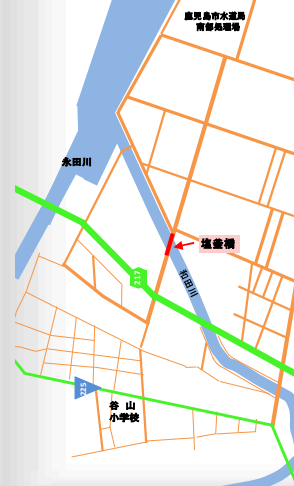


#### ★整備効果★

渋滞緩和、交通事故防止及び通学児童生徒の安心、安全な通学路が確保された。

### 修繕 (橋梁)

なんえい かごしま なんえい  
 その他市道 南栄2号線(鹿児島市南栄地区)



#### ★整備効果★

断面修復や支承取替等により機能回復を行い、安全・安心の確保と早期処置による長寿命化が図られた。